

Front fork

RXF34 m.2

Owner's Manual



ADVANCED SUSPENSION TECHNOLOGY



Öhlins Headquarters Upplands Väsby, Sweden

オーリンズ・レーシング - ストーリー

1970年代、ケント・オーリンという青年は、空いた時間のほとんどを大好きなモトクロスレースに費やしていました。

細部までこだわる性格の彼は、モトクロスバイクのある特性が気になっていました。それは、エンジンの出力がサスペンションの性能を上回っているという事実です。サスペンションを改良すれば、さらに高いパフォーマンスが得られることに気づくまで、そう時間はかかりませんでした。

オーリンズ・レーシングは1976年に設立。そのわずか2年後には、世界選手権で初優勝を獲得しました。40年近い年月を経てもなお、完璧を求め、新たな機能を追求する姿勢は変わっていません。

この度はお買い上げいただき、ありがとうございます。これであなたもオーリンズ製品のオーナーです。オーリンズ製品が世界選手権などの主要レースで優勝した回数は200回以上。これは性能と信頼性に優れていることを示す何よりの証拠です。

すべての製品は、エンジニアが何千時間もの時間を費やした厳しいテストを経ており、約40年にわたるレース界での経験から可能な限り最善な素材、設計、製造方法を取り入れて作られています。

お手元にある製品は純粋なレース用製品であり、過酷なレース環境に耐えられるよう作られています。

この製品をお乗りのバイクに装着するというのは、あなたが最高のハンドリング性能とバイクの細かなフィードバックを何としてでも得たい、本気のライダーであることの表れです。そして、オーリンズの製品はバイクに乗るたびに最高の快適性とパフォーマンスを発揮する、長く付き合える相棒になるのです。

さあ、ライドへ出かけましょう！

安全に関する注意事項

一般的な警告

⚠ 警告

オーリンズ製品を取り付けた後、必ず低速でバイクに試乗し、安定性が保たれていることを確認してください。

⚠ 警告

サスペンションから異音が生じたり、動作に異常が生じたり、製品からオイルなどが漏れたりした場合は、直ちに走行をやめ、お使いの製品をオーリンズ MTB販売店舗へご返送ください。

⚠ 警告

製品保証は、製品がこの取扱説明書の推奨事項に従って操作され、メンテナンスされた場合にのみ適用されます。使用方法、サービス、点検、メンテナンスに関するご質問は、オーリンズ MTB販売店舗までお問い合わせください。

⚠ 警告

本製品はバイク向けに開発および設計されたものであり、最大出力250ワットのペダルアシスト付き電動バイクなど、関連する車両にのみ取り付けられます。オーリンズ製バイク用サスペンション製品は、スロットル付きのモーターサイクル、またはタンデムバイクや大型実用自転車など、複数の操縦者やライダーが乗車する車両には使用できません。これらの条件以外の使用については、個別にオーリンズの承認を得ていただく必要があります。不正に使用されますと、サスペンションの故障を招き、衝突や物的損害の原因となり、重傷事故または死亡事故が発生し、保証を受けられなくなることがあります。

⚠ 警告

本製品には圧縮空気が封入されています。適切な知識や工具なしに、本製品の分解、修理または改造はおやめください。すべての油圧機構の点検は、オーリンズ認定MTBサービスセンターで行う必要があります。また、必要な技術、純正部品、工具をお持ちであれば、お客様ご自身で整備していただけます。修理のご依頼では、本製品を他の地域に送っていただく場合もあります。

👉 注意

フォークの洗浄には高圧洗浄機を使用しないでください。

□ 注記

フォークはバイクの重要な構成部品であり、安定性に影響します。

□ 注記

本製品を使用する前に、この取扱説明書およびバイクメーカーが提供するその他の技術資料をよく読み、内容を理解してください。

安全に関する記号

この取扱説明書、取付説明書、その他の技術資料では、安全に関する重要な情報を次の記号で区別しています。

⚠ 警告

警告記号の意味は次の通りです。警告の指示に従わないと、本製品の作業者、検査者、使用者、または傍観者が重傷または致命的な傷害を負う恐れがあります。

👉 注意

注意記号の意味は次の通りです。本製品を破損させないために、特別な注意を払う必要があります。

□ 注記

注記記号は、手順に関する重要な情報を示しています。

□ 注記

オーリンズ・レーシングは、取付け、使用、メンテナンスの指示に正確に従わない場合に生じた、サスペンション、バイク、その他物体の損傷や人身事故に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

□ 注記

オーリンズ製品を使用する際は、必ずバイクメーカーの取扱説明書をお読みください。

□ 注記

この取扱説明書は製品の一部とみなされ、製品の生涯を通じて保管しなければなりません。

□ 注記

保証またはサービスで返送が必要な場合のために、元の梱包材を保管しましょう。

□ 注記

保管や輸送の際、特に周囲温度が高い場合、組立てて使用したオイルやグリスが漏れて包装を汚す恐れがありますのでご注意ください。これは製品に書を与えるものではありません。漏れ出たオイルやグリスは布で拭き取ってください。

□ 注記

この取扱説明書に記載されている画像は一般的な製品図であり、お手元の製品とは多少異なる場合があることを了承ください。

□ 注記

ライダー、バイク、ギアからなるシステム全体の耐荷重は135kgです。

THE ÖHLINS RXF34 M.2 FRONT FORK

この度は、オーリンズのフロントフォークをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、オーリンズのスウェーデン本社マウンテンバイク部門が来るべき次世代スターのために、現在の世界のスターたちから得た経験をもとに開発したものです。

この取扱説明書をよく読み、バイクを正しくセッティングしてサスペンションの性能を最大限に引き出しましょう。

Contents

各部の仕組み	5
取付け方法	6
エアスプリングのセッティング	8
OTX18のセットアップ	13
メンテナンス	16

1 各部の仕組み

サスペンションを正しくセットアップするには、フロントフォークとリアショックのバランスを取らなくてはなりません。

そのため、お買い上げいただいた製品をセッティングする際に、両方を考慮する必要があります。

フォークのセッティングでは、以下の2つのシステムを考慮する必要があります。

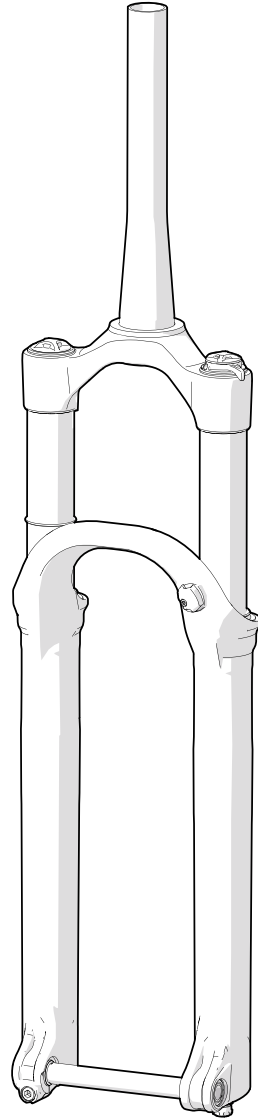
スプリング

スプリングの主な目的は、ライダーとバイクを支え、衝撃を受けた後に元の車高へと戻すことです。

サグのセッティングは、フォークのチューニングで最も重要であり、エアスプリングを正しくチューニングする必要があります。サグとは、静止状態における通常の乗車姿勢で沈んだサスペンションのトラベル量のことです。エアスプリングのセッティング方法については、別の章を参照してください。

油圧ダンパー

油圧ダンパーは、運動エネルギーを熱に変換することで、コンプレッション（縮み側）とリバウンド（伸び側）におけるフォークの動きを制御します。バルブとシムの組み合わせによりオイルの流量を調整し、減衰力を制御します。



2 取付け方法

⚠ 警告

フォークの取付けは、オーリング認定MTBサービスセンターに依頼することをお勧めします。

⚠ 警告

バイクをワークスタンドに載せる場合は、ペイントやフィニッシュに傷がつかないように、フレームを押さえてフォークを取り外すようにしてください。

□ 注記

本製品を取り付ける前に、バイクを十分に清掃してください。

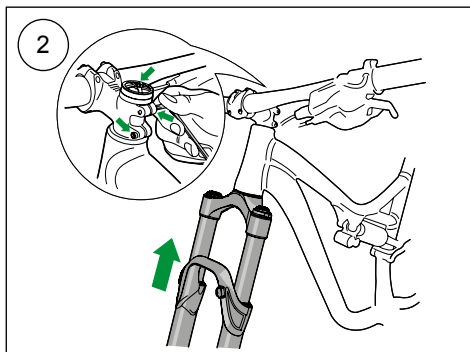
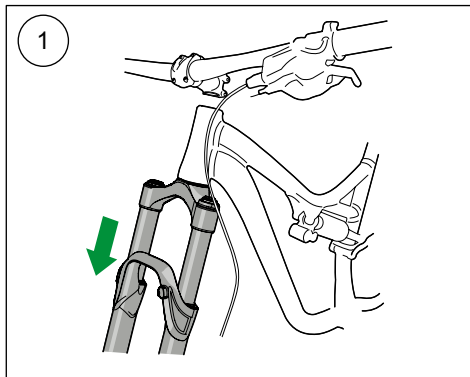
RXF34 m.2 - FGXXX 34XX 22230

1

元のフォークを取り外します。

2

本製品を取り付けます。ステムを取り付け、メーカーの説明書に従ってヘッドセットを締め付けます。



2 取付け方法

3

ブレーキキャリパーをブレーキメーカーの説明書に従って取り付けます。最小ローターサイズは160mm、最大ローターサイズは203mmです

4

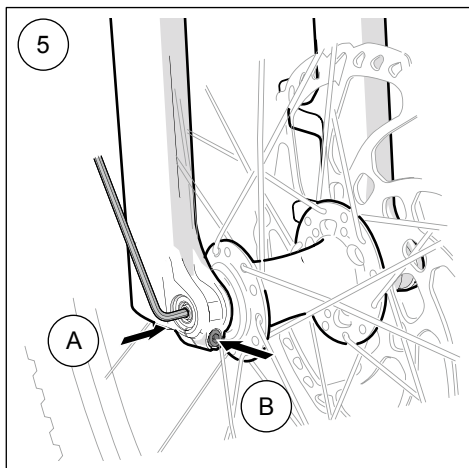
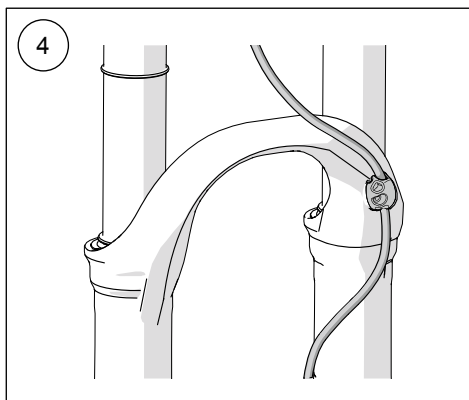
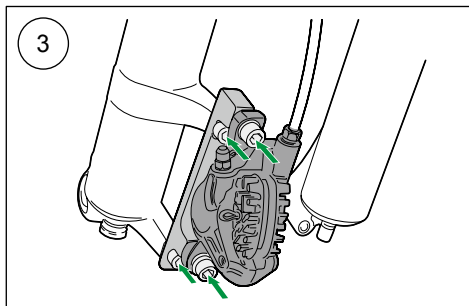
ブレーキケーブルをホースクランプに取り付け、2.5mm六角レンチを用いてボルトを0.5Nmで締め付けます。

5

取付け前に、アクスルとそのねじ山にグリスを塗ります。5mm六角レンチを使用して、アクスル (A)、ボルト (B) の順にどちらも6Nmで締め付けます。

注意

すべてのボルトが適正トルクで締め付けられていて、フォークが完全に伸び、またボトムアウトしたときに、その動きを悪化させたり妨げたりするものがないことを確かめます。フォークを回したときに、フォークとフレームの間に適切な隙間があることを確認します。



3 エアスプリングのセッティング

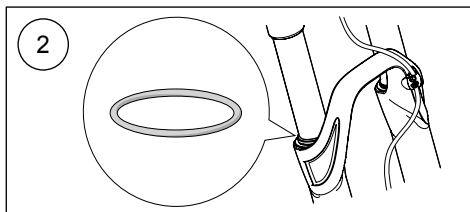
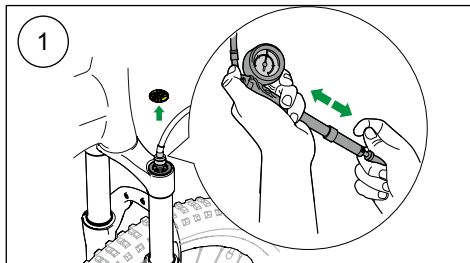
エア圧のセッティング

正しいスプリングのセッティングは、フォークのセッティングにおいて最も重要です。まず、推奨されるエア圧とサグを設定し、以下のチューニングの手順に従いましょう。エアスプリングのセッティングが不十分だと、油圧ダンパーをどれだけ調整しても完全な性能を引き出せません。

サグのセッティングは、バイクの車高やフォークの角度に影響を及ぼすため、セッティングの中でもとても重要です。以下では、サグのセッティング方法について説明します。右の推奨エア圧表をご利用ください。

□ 注記

この作業は必ず平らな床で行ってください。サグの値が不正確になるため、バイクの上で飛び跳ねないでください。



サグのセッティング:

1

トップキャップ（メインチャンバー）を緩め、サスペンションポンプを取り付けます。希望のエア圧まで充填したらポンプを取り外し、トップキャップを付け直します。

2

Oリング（サグインジケーター）を図の位置にセットします。

ライダー重量	空気圧
50 - 55kg	48 - 63 psi
55 - 60kg	53 - 67 psi
60 - 65kg	57 - 72 psi
65 - 70 kg	62 - 76 psi
70 - 75 kg	66 - 81 psi
75 - 80 kg	71 - 85 psi
80 - 85 kg	75 - 90 psi
85 - 90 kg	80 - 94 psi
90 - 95 kg	84 - 99 psi
95 - 100 kg	89 - 103 psi
100 - 105 kg	93 - 108 psi
105 - 110 kg	98 - 112 psi
110 - 115 kg	102 - 117 psi
115 - 120 kg	107 - 121 psi

3 エアスプリングのセッティング

3

ライディングギアをすべて身につけ、通常の乗車ポジションでバイクに乗ります。

4

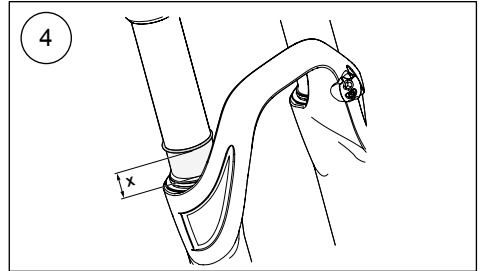
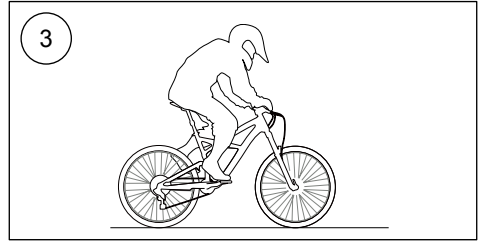
バイクから降り、リング（サグインジケーター）が動いた距離を測ります。サグはフォークトラベルの約15～25%に設定してください。

一般的な推奨事項:

- サグが少なすぎる場合：メインチャンバーからエアを抜きます。
- サグが多すぎる場合：メインチャンバーにさらにエアを入れます。

一般的な推奨事項:

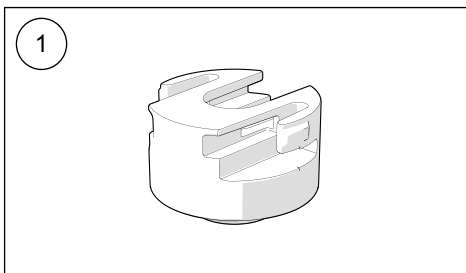
激しく走る方はサグを少なめにし、スムーズに走る方はサグを多くするとよいでしょう。ご不明な点は、オーリンズ認定MTBサービスセンターまでお尋ねください。



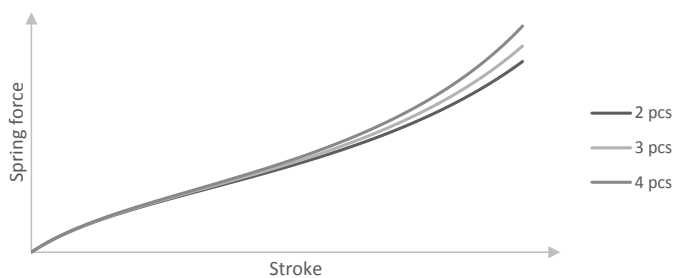
3 エアスプリングのセッティング

エアボリュームの調整

ボリュームスパーサーの数を増減させてエアスプリングのボリュームを調整すると、スプリングレートが変わります。スパーサーを増やすとトラベル終盤のスプリングレートが上がり、減らすと下がります。



トラベル量	ボリュームスパーサーの推奨数	ボリュームスパーサーの最大数
120	4 x 8 ml	6 x 8 ml
130	3 x 8 ml	5 x 8 ml



3 エアスプリングのセッティング

⚠ 警告

作業を始める前に、メインチャンバーからエアを完全に抜いてください。

⚠ 警告

指定された最大数より多くスペーサーを取り付けないでください。

1

トップキャップの周囲がきれいであることを確かめます。

2

メインチャンバーのエアをすべて抜きます。

3

ソケットレンチとカセットロックリング用ソケットを使ってトップキャップを緩めます。

4

トップキャップとボリュームスペーサーをインナーチューブから取り出します。

5

ボリュームスペーサーの数を増減させます。

6

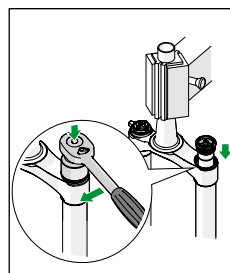
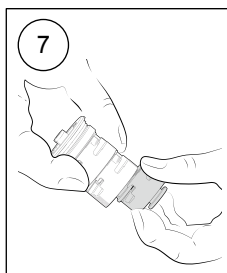
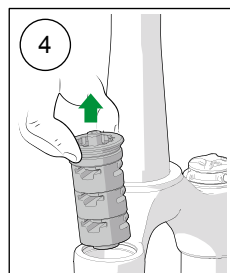
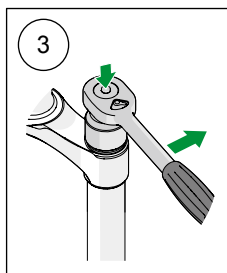
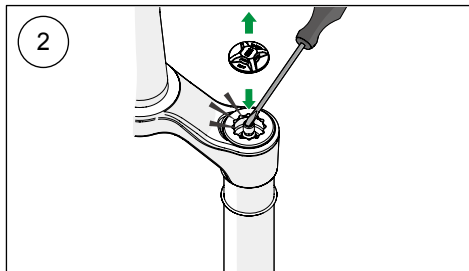
トップキャップのOリングにゴミや損傷がないのを確認します。Oリングが損傷していたら、オーリンズ認定MTBサービスセンターまでお問い合わせください。

7

ボリュームスペーサーとトップキャップをインナーチューブに入れます。

8

トルクレンチとカセットロックリング用ソケットを使ってトップキャップを32Nmで締め付けます。



3 エアスプリングのセッティング

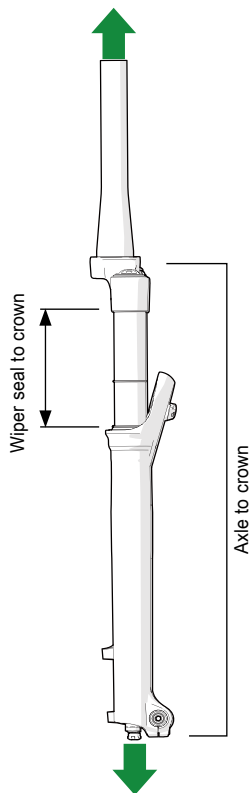
元のライドポジションへのリセット

メインチャンバーのエア圧を減らしたら、フォークを元の長さに戻す必要があります。

例: エア圧を90psiから70psiに下げた場合、トラベルが短くなるためライドポジションが低くなります。どなたかにホイールをしっかりと押さえてもらいながら、ハンドルバーを引き上げてフォークを伸ばし、元のライドポジションにリセットしてください。元の長さになるまで、この引き上げ作業を10回ほど繰り返します。

オリジナルフォーク長

Fork travel [mm]	Wiper seal to crown [mm]	Axle to crown [mm]
120	122	531
130	132	541



4 OTX18 セットアップ

コンプレッション ダンピングは、フォークが縮む過程で生じるエネルギーの吸収量をコントロールします。つまり、路面からの衝撃でフロントフォークが縮む速さを変更できます。

リバウンド ダンピングは、フォークが伸びる過程で生じるエネルギーの吸収量をコントロールします。つまり、路面からの衝撃で縮んだフロントフォークが元の長さまで伸びる速さを変更できます。

各種アジャスターのセッティング方法

各種アジャスターは、通常の右ねじとなっています。アジャスターを時計回りに回すと、完全に閉じたポジションとなります。反時計回りに回すと開いたポジションとなります。アジャスターが推奨ポジションになるまでのクリック音を数えます。

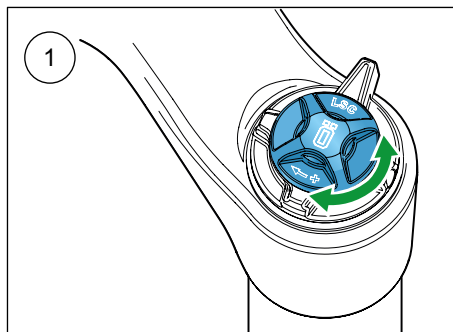
警告

シール面は傷つきやすいため、アジャスターは手で優しく回してください。

コンプレッション ダンピングのアジャスター

1. 低速側の調整

調整には、OTXカートリッジ最上部にあるブルーのアジャスターを回します。時計回りに回すとダンピングが強まり、反時計回りに回すと弱まります。

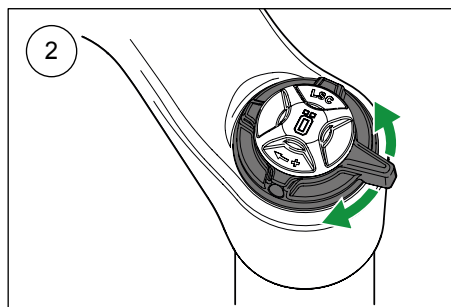


2. 高速側の調整

調整には、OTXカートリッジ最上部にあるブラックのアジャスターを回します。時計回りに回すとダンピングが強まり、反時計回りに回すと弱まります。プラットフォーム コントロールにセットするには、完全に閉じたポジション0 [ゼロ]まで回します。

注意

*ポジション 0 [ゼロ]: プラットフォーム コントロールは、長い登りでの使用を想定しているため、通常の走行では使用しないでください。通常の走行で使用すると、トラクションや衝撃吸収を十分に得られないことがあります。



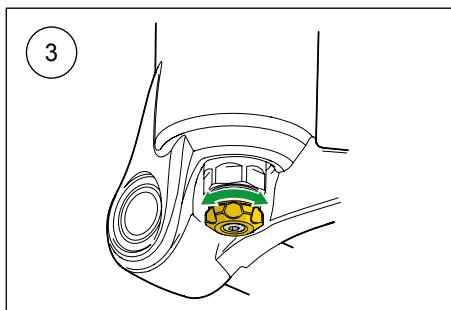
リバウンド ダンピングのアジャスター

3. リバウンドの調整

調整には、フォーク最下部にあるゴールドのアジャスターを回します。時計回りに回すとダンピングが強まり、反時計回りに回すと弱まります。

注意!

リバウンド アジャスターは温度変化を補正するよう設計されており、クリック数が暖かい日と寒い日で異なる場合があります。セッティングの推奨値は室温で設定されています。



4 OTX18 セットアップ

安定性とトラクション

どのバイクも、車高やフォーク角度など、サスペンションの使用を想定したジオメトリーで設計されています。構成部品を1つでも変更するとサスペンションのジオメトリーが変化し、従ってフロントエンドとリアエンドが互いに一致していることが重要です。

Öhlinsのサスペンションは、フロントフォークとリアショックの両方が適切に相互作用する場合にのみ、最高のパフォーマンスを得ることができます。その際、前後の最低地上高が指定値内にあることが重要です。

一般的なセッティング

フロントフォークの調整を試行錯誤しながら繰り返し、テストすることで、セッティングによるバイクへの影響がどのように変化するかを学ぶことができます。セッティングの際は、全ての調整箇所を推奨値にセットした状態で試乗をすることから必ず始めてください。

試乗には、急コーナーと緩やかなコーナーがあり、鋭い凹凸と細かな凹凸があるなど、特性が変化する短いルートを選びましょう。

セッティングを変更する際は、1つの項目だけを変更するようにしてください。バイクをセッティングする際は、最適化したい路面に合わせてフロントフォークも同時にセッティングしなければなりません。ただし、あらゆる路面に完璧なセッティングは存在しないため、ある程度の妥協が必要となります。

常に優先すべき事項

- ・安心感
- ・安定性
- ・快適性

以上を優先させると、体力を無駄に使わず、より安心して安全に走れるようになります。

調整域

RXFフォークは、調整域内での使用を想定して設計されており、完全に開いたまたは閉じた状態での走行が、乗る方によっては正常となる場合があります。

リバウンド ダンピング

バイクの挙動が凹凸の上で乱れたり、ジャンプで弾かれたりするなど不安定に感じる場合は、リバウンド アジャスターを閉じる方向に1クリック回します。

バイクが快適でなく、凹凸の上での動きが硬く感じ、コーナーに進入しにくく、荒れたセクションでラインを維持できない場合は、リバウンド アジャスターを開く方向に1クリック回します。

バイクの動き

- ・不安定
- ・挙動が乱れる
- ・跳ねる

→ リバウンド ダンピングを強めます

バイクの動き

- ・硬い
- ・快適でない
- ・トラクションに劣る

→ リバウンド ダンピングを弱めます

4 OTX18 セットアップ

低速コンプレッション ダンピング

低速側アジャスターは、バイクの地面に対する動きをコントロールするために用います。フロントフォークが柔らかい、またはバイクが不安定（例えばコーナー進入時）と感じる場合は、時計回りの閉じる方向に1クリック回します。バイクが硬く、トラクションに劣ると感じる場合は、反時計回りの開く方向に1クリック回します。

高速コンプレッション ダンピング

高速側アジャスターには5つのポジションがあります。アジャスターを完全に閉じた状態がポジション 0 [ゼロ]、完全に開いた状態がポジション 5です。時計回りに回すと、高速側ダンピングが強まり、フォークの動きが硬くなります。反時計回りに回すと、高速側ダンピングが弱まります。

ポジション 1～5までがトレイルライドに適しています。

ポジション 0 [ゼロ]は、トラクションの必要性が限られ、プラットフォーム コントロールによって効率性が高まる長い登りで使用します。

このフロントフォークは、アジャスターがポジション 5 (完全に開いた状態) で出荷されます。このセッティングはもっともオールラウンドであり、一般的なライダーや路面に最適です。

バイクの動き

- ・柔らかい
 - ・低い
 - ・ボトムアウトする
- コンプレッション ダンピングを強めます

バイクの動き

- ・快適でない
 - ・硬い
- コンプレッション ダンピングを弱めます

空気圧

適正な空気圧とサグはクリック数と並び、あなたの乗り方に適した最高のセッティングを見つける上で欠かせません。まずは基本的なサグ値から始め、アジャスターを調整していきましょう。ただし、アジャスターの調整で柔らかすぎるまたは硬すぎる空気圧を完全に補正することはできません。

注意

よりプログレッシブなスプリング特性をお求めの場合は、正規Öhlins MTB 取扱店舗までお尋ねください。



5 メンテナンス

悪天候下での極端な走行および掃除不足により、サービス頻度が高まることがあります。

メンテナンス	頻度
フロントフォークの土や汚れの掃除	走行ごと
空気圧の確認とサグのセッティング	走行ごと
フロントフォークの取付ボルトの締付トルクの確認	走行ごと
ロワー取り外し、ブッシュとシールの掃除および点検、必要に応じてオイルバスの交換	50時間ごと
サービスセンターでのフロントフォークのエアスプリングのサービス	100時間ごとまたは1年
サービスセンターでのロワー取り外し、掃除、シールとバンブラバーの交換、オイルバスの交換	100時間ごとまたは1年
サービスセンターでのフロントフォークのダンピングカートリッジの分解組立	100時間ごとまたは1年

オーリンズMTBサスペンション サービスセンター

ダイアテック株式会社

〒603-8035 京都市北区上賀茂朝露ヶ原町10-19
TEL 075-702-7766 (平日 10:00-17:00)

- メンテナンス・修理に関しては、ご購入いただいた販売店を通してご依頼ください。